

普通の町取り戻す

震災8年

首長に聞く

町長に就任してのこしで一番大事な半年が過ぎた。ことだと考えている。

町内で行ったイベント「ふたばワールド」(9月)に1万5000人、10日市祭(11月)に0人以上が参加した。3万7000人と多く、やはり子どもの声が町に聞けるのは最高が印象的だった。町民の気分だ。小学校は新年度にも、6人の新人を迎える予定だ。教育環境は子育てしやすい町にしたい。子どもは地域の宝であり、どうやってみんなで育てていくか考えたい。

吉田数博・浪江町長



町長 吉田数博

よしだ・かずひろ 浪江町出身。小高工高卒。1997年から町議を6期、このうち議長を務めた。故郷浪江町長に就任した。72歳。

震災から8年と考えるか、一部地域の避難指示解除から2年ととらえるかにもよる。復興庁の住民意向調査では、すでに帰還している。

町民帰還 課題解消へ意欲



浪江町

東京電力福島第1原発事故に伴って町全域が避難区域となり、帰還困難区域以外の避難指示が2017年3月に解除された。昨年4月には町立なみえ創成小・中学校が開校。国の指定重要無形民俗文化財の相馬野馬追では最南端の標旗(しねは)郷の中心地で、昨年7月、震災後初めて騎馬武者の行列が町内を練り歩いた。また、町民約1万5000人が申し立てた国の裁判外紛争解決手続き(原発ADR)の打ち切りを受けて昨年11月、町民109人が東電と国を相手取って福島地裁に提訴した。

人と帰還したいと考えている人が16・7%。判断のつかない方も3割いて、このうち一部が帰還すれば、新住民と合わせて目標としている人口5000人を超え、0人に何とか届くのではないかと。町民アンケートを実施すると、懸念材料として多く挙がっているのは、買い物環境、働く場所、医療・介護、放射能の四つ。これら

を一つ一つクリアしていききたい。震災以前の基幹産業だった第1次産業の復興をどう描くか。請戸漁港にまもなく荷さばき場が完成するなど、漁業には見通しが付いてきた。あとは農業だ。以前はそれぞりが乾燥機を持ち、育苗も個々でやっていたが、今はそれが難しくなっている。大きな設備については町で準備する形で負担軽減したり、組織化を進めたり、いろいろな仕掛けを準備する必要がある。

町域の8割を占める帰還困難区域の再生をどう考えるか。特定復興再生拠点区域が3カ所設定された。そこから離れた人からは「うちはどうな初期で開催された運動会で、地域住民と一緒に玉入れを楽しみながら創成小・中学校や浪江にいろいろな町の子とまち浪江町で、喜慶を祝う。浪江町で、喜慶を祝う。浪江町で、喜慶を祝う。

子供たちの声が聞こえて、高齢者が安心して暮らせる、普通の町にしたい。そのためには働く場を確保したり、放射能の不安を取り除いたりといった対応が必要になってくる。現状では原発事故に関連した仕事はほとんどだが、早く普通の町に戻したい。

小型無人機(ドローン)輸送や自動車の無人運転の試験が町内で始まるなど、先端技術が町に入ってきている。住民や交通量が少ないことを逆に取った事業だ。与えられた条件で競争していくしかない。プラス思考でないと、前には進まない。

【聞き手・高橋隆輔】 随時掲載

ドローンで気象観測へ

実験27機隊列飛行を公開

南相馬

2000m以上の風速や温度、湿度など気象条件を、隊列を組んだ小型無人機ドローンを使って立体的に把握する試みに、ドローン実験「eロボティクス福島」(南相馬市)とソフトウェア開発「東日本計算センター」(いわき市)が取り組んでいる。すでに27機での隊列飛行に成功し、15日には南相馬市

た地点の状況を同時に収集することが可能になる。得られたデータは、正確な気象予報のほか、風力発電所の効率的な設計、事前にやったシミュレーションの精度チェックなどにも活用が期待される。

今月5日には、27機のドローンが30分間隔で立方体状の隊列を組んで飛行試験に成功。今後は、上空で通信が途絶えてしまった場合や、隊列を組んだドローン群同士が出合

3棟全焼2遺体発見

柳津インドネシア人女性か

15日午前2時40分ごろ、柳津町柳津の住宅3棟が全焼し、1棟が一部焼失した。焼失した3棟のうち、1棟はインドネシア人の女性2人が死亡したと見られる。20〜30代の女性2人、20〜30代の女性2人、20〜30代の女性2人。

15日午前1時半ごろ、三春町北町、無職、渡辺善則さん(64)方から火が出ていると近所の住民から119番があった。木造2階建て住宅延べ約130平方メートルを全焼し、1階

隊列を組んで飛行するドローン—南相馬市原町区のロボットテストフィールドで

隊列を組んで飛行するドローン—南相馬市原町区のロボットテストフィールドで

隊列を組んで飛行するドローン—南相馬市原町区のロボットテストフィールドで

隊列を組んで飛行するドローン—南相馬市原町区のロボットテストフィールドで

隊列を組んで飛行するドローン—南相馬市原町区のロボットテストフィールドで

隊列を組んで飛行するドローン—南相馬市原町区のロボットテストフィールドで

隊列を組んで飛行するドローン—南相馬市原町区のロボットテストフィールドで

福島
FUKUSHIMA
fukushima@mainichi.co.jp

福島支局
〒960-8034
福島市置賜町8の22
024(521)1233 FAX024(525)2155
郡山支局
〒963-8012
郡山市田代2の8の9
024(932)4052 FAX024(932)4051
いわき支局
〒970-8034
いわき市平上荒川砂屋戸1の62
アトリウム砂屋戸301
0246(23)0040 FAX0246(23)0041
会津若松通信部
0242(36)5075 FAX0242(36)5076
南相馬通信部
0244(23)6800 FAX0244(22)2823

広告 毎日福島広告社 024(536)1904
折込 ケンオリ 024(944)8400
購読 0120-468-012

福島 024(521)4025 二本松 0243(22)3710
郡山 024(944)3358 須賀川 0248(73)2429
平 0246(25)2884 小名浜 0246(92)4363
若松 0242(22)1778 喜多方 0241(22)1723
白河 0248(22)1166 南相馬 0244(22)2515
相馬 0244(35)2865

ウチの場合は
森下裕美 (4758)

風がすくくて
電車が遅れがち
なんだ
帰るのも遅くなるかも
いいのよ
気をつけてね
パンさん

遅くなってもいいから
転ばないように
気をつけてねパンさん

ちゃんと連絡しておけば
よけいな心配かけずに
すむんだよ

電